



創立 1995 年 10 月 18 日

継続は力なり！

2017～18年度 テーマ プロバスクラブの道に終わりなし 生涯現役でクラブライフを楽しもう

定期総会・例会

日 時：平成 29 年 7 月 13 日(木) 12:30～15:30
 場 所：八王子エルシィ
 出席者：58 名 出席率 90.6%
 (会員総数 68 名 休会 4 名 欠席 6 名)

会食とハッピーコイン披露

山口三郎例会委員長の進行で会食に入り、馬場副会長からハッピーコイン 19 件の披露があった。(5、6 ページに掲載)

第 21 回定期総会

1. 開 会 山口例会委員長

第 21 回定期総会を開催します。

2. 会 長 挨拶 武田会長

第 22 代会長に推されました武田でございます。これからの 1 年間、精々務めますのでよろしくご協力の程お願い致します。

本日は新年度第 21 回定期総会、並びに例会であります。総会におきましては皆様の真摯なご審議をお願い致します。

今年度のテーマや会長方針は、既に各委員会初顔合わせでご披露済みですが、改めて例会でご報告致します。

3. 議 長 選 任

恒例により会長が議長を務めることとなり、武田会長が議長席につき、会員総数 68 名の内、会員 58 名が出席し、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った。

4. 書記 1 名、議事録署名人 2 名選出

書記に高取和郎会員、議事録署名人に佐々木正会員、宮城安子会員が選出された。

5. 議 事

議案は出席会員に配布されているので、議案の項目のみを掲載する。

第 I 号議案 2016～2017 年度 事業報告

第 II 号議案 2016～2017 年度 一般会計決算報告

第 III 号議案 2016～2017 年度 活動準備資金特別会計決算報告

第 IV 号議案 2016～2017 年度 第 21 回生涯学習サロン特別会計決算報告

前年度幹事、副幹事、地域奉仕委員長からの議案説明と続いて監査報告

採決の結果、第 I 号議案から第 IV 号議案まで、賛成多数で可決承認された。次いで、

第 V 号議案 2017～2018 年度 一般会計予算(案)

第 VI 号議案 2017～2018 年度 活動準備資金特別会計予算(案)が上程され、内山幹事から説明があった。

採決の結果、第 V 号議案、第 VI 号議案は賛成多数で可決承認された。

6. 議 長 解 任

7. 閉 会

第 261 回例会

1. 開 会

山口例会委員長

第 261 回例会開催を告げ、配付資料の確認。

2. 会 長 挨拶

武田会長

東京八王子プロバスクラブは 1995 年に創立してから本年で 22 年を迎えます。

お陰様で市民の皆様の温かいご支援があり、順調に発展することが出来ました。

高齢化社会、当クラブも例に漏れずクラブ会員の高齢化が進み、実働できる会員が減少する中、従来 of 活動・事業を維持するに



はどのような体制を組むべきか、最適なモデルを求めて行かねばなりません。

“温故知新”、ここで改めて設立時の活動目標を振り返り、これからの進むべき道を思案して行く所存です。

初代のスローガンは「地域への知的貢献、会員活動の活発化」でした。まさにプロバスクラブ活動の原点を顕示しています。初代以降在籍されている会員の話を伺う機会を持つとともに、併せて地域奉仕活動で市民の皆様との交流の在り方を検討し、また会員がクラブライフを楽しめる雰囲気作りを推進して行きたいと思えます。

そこで、今期のスローガンは次のように致しました。

継続は力なり！
～プロバスクラブの道に終わりなし
生涯現役でクラブライフを楽しもう～

本年は10月1日に八王子市制施行100周年を迎えることで、八王子市では様々な記念事業が行われております。私どものクラブも、八王子市で企画された次のイベントへの参加・協力を実施、あるいは予定をしております。

＊「春の八王子防犯の集い」＊2017健康フェスタ/食育フェスタ ＊第32回平和展 ＊第67回社会を明るくする運動「みんなに届け！私たちのメッセージ」 ＊Dr. 肥沼の偉業を後世に伝えましょう ＊八王子いちょう祭り ＊宇宙飛行士講演会、など。

皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げますが、まずは健康が大事です。充分にご留意の上、クラブ活動にご参加されますよう心から祈念申し上げます。

3. 来賓ご紹介・・・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ

会長 鈴木 和夫様

幹事 脇本 昌幸様

国際ロータリー第2750地区バスターガバナー

坂本 俊雄様

ご挨拶

鈴木和夫会長

皆さま、こんにちは、ご紹介頂きました南ロータリーの今年度会長を拝命しました鈴木でございます。



どうぞよろしくお願い致します。八王子プロバスクラブは私どもの10周年の時に設立されたと聞いております。今回初めて例会に出席させていただきました。

今年度の私どものクラブテーマとして「和と輪」でロータリーを楽しもうということを目ざして活動してまいりたいと思っております。

4. パースデーカード贈呈

池田会員手作りのパースデーカードが武田会長より贈られました。おめでとうございます。



左より、有田、高取、浅川、濱野の4会員、岩島会員（休み）澤渡会員（休会）

5. 幹事報告

内山雅之幹事

武田会長の方針「継続は力なり！～プロバスクラブの道に終わりなし 生涯現役でクラブライフを楽しもう～」という新年度の方針受け、会員の方々と協力し合い、支え合いながら目的達成のため、活動を進めてまいりたいと存じます。皆さま方のご協力をお願い致します。



次に、先程の総会でご承認いただきました平成29年度の一般会計予算ですが、非常に厳しい財政状況に置かれております。この財政危機をどのような形で乗り越えてゆくかを検討する時期に来ております。

楽しいクラブ活動を進めて行くため、皆様がたのご意見を聴き、対処してまいりたいと考えております。その節は、よろしくご協力のほどお願いいたします。

6. 各委員会活動報告(新年度活動報告)

(1) 例会委員会

山口委員長



「喜んで是非出席したい例会」でありたいと思う。

その為にはまず

①受付・配席・資料送付・集金等分担を決め各委員が役割を確実に実行すること。

②また会場の配席はとても大切だと感じている。本日は新しい委員会メンバーを中心としていますが、今後皆様からのアイデアも頂きつつ検討していきたい。

③折角の一月に一度の例会ですから「楽しく」、「会話が弾んだ」、「良い話が聞けた」、「来月もまたお会いしましょう」と言われるような雰囲気を出せればと思う。

④小さな幸せを皆で大きくと言ったハッピーコインとバースデーカードは継続をお願いしたい。

(2) 情報委員会

山崎情報委員長



これまで築いてきた情報委員会の事業を継承するとともに、委員全員で連絡や情報交換を密にし、協力してより楽しい委員会活動ができるよう工夫して取り組む。

① 計画的に活動できるよう

年間計画、役割分担を工夫。

② 前年度のよかった点を引継ぎ、反省点を改善。

③ お互いの情報スキルを高め、クラブライフを楽しむ。

具体的な活動として、

- ・ホームページの内容の充実を図るとともに、データを整理・更新し、分かりやすく展開する。
- ・SNS は初の試みなので、作成運用等について検討する。
- ・編集方法や SNS 等の研修会を開き、スキルを高め、プロバスライフに生かせるようにする。

※ご協力とお願い：「プロバスだより」「学習サロン抄録」「第二回東日本ブロック交流会」等の記録は、手書き、またはワードなどの活字原稿でいただけますようご協力をお願い致します。

(3) 会員委員会

戸田委員長



会員委員会としては 75 人位の人数の確保をと思いますが現実にはなかなか難しいので、会員の皆さんのお力をいただいで、一人でも多くの方に入会していただきたいと考えています。去年は 5 人の入会でしたが退会する方もいらっしゃいますので 70 人態勢は難しい部分があります。

委員会として 7 つのテーマを掲げ、それについてクリアしたいと考えています。皆さんのお力添えをいただきますことをお願い申し上げます。

(4) 研修委員会

竹元委員長



①卓話の運営

新入会員の自己紹介を兼ねた卓話を含め、有意義な卓話を考えたい。近隣プロバスクラブとの交流深化の場となる工夫もしたい。

②野外研修の実施

有意義な研修と無理のない行程を考えたい。地元八王子周辺・多摩地区を見直したい。

③出前講師の派遣

過去の実績を踏まえ、内容や広報のありかたについて再検討したい。

④同好会の活性化

同好会の活動を通じた交流・交歓を一層進めたい。

(5) 域奉仕委員会

永井委員長



①生涯学習サロンを成功させる。

②全員参加で楽しいサロン・楽しく学べるサロンを楽しく企画し、楽しく実施する。

③良いテーマ、魅力あるテーマを選択する。

今年度も、3 週・12 講座、2 特別講話で行う。

④一般(サロン) 会員を 100 名以上確保する。

⑤「いちよう祭り」等、地域の行事に参加する。

皆様へのお願い：サロン話し手のお願いに回りまでするので、快く引き受けてください。

厳しい財政状況にあります。ご友人、お知り合い

を、できるだけ多くサロンにお誘いください。また野外サロンは参加状況によって赤字になりかねません。多くの方の参加を望みます。

(6) 交流担当

浅川会員



各プロバスクラブにおいて、7月は役員改選があります。当クラブからもまだ発信はされておきませんが、各クラブから情報が入り次第連絡します。

(7) 八王子「宇宙の学校」 下山PJリーダー



八王子「宇宙の学校」はずでにスタートして方針を述べるには、時機を失していますがご容赦ください。今纏めると

①既にスタートしている計画をしっかりと実施することが第

1の任務です。そして

②次年度の計画を立案することが第2

③そのため応募の多い状態に少しでも応えるよう、会場などの条件を整えていくことが、第3の仕事です。6月からスタートした八王子「宇宙の学校」は、11日工科大学、18日本部教育センター、7月9日工科大第2回、と順調に開催しております。工科大は1、2回とも90組中87組の参加で97%の参加率です。第1回と2回は異なる方が欠席で、100%といってもいいくらいです。本部も76組中の69組の参加で91%です。北高は明後日15日です。大学生のボランティアも十分集まっています。プロバスクラブの皆さんもそれぞれ応援に来ていただいてありがとうございます。なお武田会長のお話がありますが、支援の会での財政的ご支援もよろしく願います。

7. 宇宙の学校支援の会

代表 武田会長

八王子「宇宙の学校」支援の会代表の武田です。会員各位には八王子「宇宙の学校」の運営、実施に当たり、財政面、活動面で様々なご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。

昨年度は、財政面において八王子市から「宇宙の学校」助成金の支援があり、活動面においては、こども科

学館への業務移管、学生ボランティア倶楽部設立により、プロバスクラブおよび会員の負担軽減を実現することが出来ました。今年度も引き続き更なる向上に努めたいと思います。

会員各位には今年度も引き続き財政面の支援をお願い申し上げます。具体的には今年度会費として2,000円(2口)の参加登録をお願いします。登録は今日の例会後並びに8月例会まで申し込みを受け付けます。また、活動面でご協力頂ける方は「宇宙の学校」プロジェクト下山リーダーにご相談ください。

今月の宇宙の学校

7月の八王子「宇宙の学校」は二つの会場がありました。

★7月9日(日) 東京工科大学会場 大気圧を体感しよう、熱気球を作って打ち上げよう

★7月15日(土) 都立八王子北高校会場 開校式 ホバークラフトを作ろう



走れ！ホバークラフト

8. 同好会会員活動

お茶の会

宮崎会員

毎月第4火曜日に阿部治子先生のご自宅でお稽古をしています。7月と8月はお休みになります。

ゴルフ

持田会員

5月に予定していましたが三多摩ゴルフコンペが雨天のため中止になっていましたが、10月に行われることになりました。同好会は年2回、三多摩ゴルフ会は年1回実施しています。

写真

矢島会員

しばらく休会していましたが、再開したいと思います。写真に興味のある方は是非参加をして頂きたいと思います。高級なカメラでなくても、皆さんと一緒に風景とか花とかの写真の撮りに行きたいと思っています。

囲碁

下山会員

毎月第1、第3金曜日の午後に台町市民センター

で活動しています。会費 500 円。囲碁好きがお相手致しますのでお出かけください。

麻雀

萩島会員

ボケない麻雀 毎月第3火曜日午後「びおら」で実施しています。禁煙、賭けない、飲食無しがモットー。プレイ後はお楽しみをしています。

美術鑑賞 古典芸能鑑賞

池田会員

両方とも特に会員制にはしていません、自由参加です。美術鑑賞は9月以降に計画したいと思います。古典芸能鑑賞は6月に勉強会とお試し観賞会を実施しましたので、それをもとにして12月に鑑賞を予定しています。

俳句

河合会員

プロバスだよりに毎月掲載させて頂いております。7月発行号に掲載されています山形忠顯会員の句は朝日俳壇(6月19日)の兼子兜太に選ばれた一句です。今年2回目の快挙です。

俳句希望者は是非句会にご参加ください。

旅

宮崎会員

1年に1回位企画したいと思っています。その時は自由参加ですのでぜひご参加ください。

カラオケ

高取会員

毎月第4木曜日午後2~5時北口のカラオケ館で実施しています。自由参加、会費は1,300円、入退場自由です。健康に非常に良いそうですのでぜひご参加ください。

フラダンス

根本会員

5月のさよならパーティーの時にはご声援を頂き楽しく踊ることが出来ました。現在8名ですがもう少しご加入頂きたいと思っております。毎月第1・第3水曜日10:30~12:00「びおら」で練習し、レッスン後はランチで歓談・交流をしています。

9. その他

大澤会員より

八王子市制100周年記念事業の一環として9月16日から10月15日まで第34回全国都市緑化はちおうじフェアが市内6ヶ所で開催されます。

このフェアのうち、北エリアのプレイベントとして開催されます「名城トーク」のご案内をお手元にお届けしました。お誘い合わせてぜひお出かけください。

廣瀬会員より

お手元にお届けいたしましたご案内のように第32回平和展が7月29日から8月2日まで八王子駅南口会場で開催されます。同様に8月11日から15日まで南大沢文化会館でも開催します。どうぞお出かけください。

10. プロバス讃歌斉唱

11. 閉会

馬場副会長

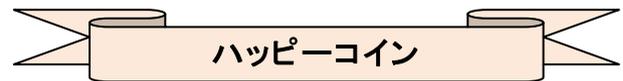


本日の定期総会及び例会は順調に進みました。会長の年度方針の説明に加えて各委員長・リーダーの活動方針も発表されました。更に改めて全同好会の紹介もあり、年度冒頭の例会に相応しい内容となりました。

一方、休会者が増え会員の健康維持が大切であることや予算上に若干の課題があることにも気づかされました。

以上のことも踏まえた上で今年度も楽しく元気よくクラブライフを楽しみましょう。

本日はお疲れさまでした。8月例会で元気に再会しましょう。



◆全日本プロバスの114番目の新潟プロバスクラブが創立します。お祝い例会に出席して来ます。来月は115番目 福島プロバスも誕生します。

立川富美代

◆“八王子市社会を明るくする運動”大会の開会式後にシニア・ダンディーズが出演します。7月17日、いちようホールの大ホールデビューです。

立川富美代

◆プロバス新年度を祝して、ますます発展するように願って。

土井 俊玄

◆誕生日おめでとう！今年もめでたく誕生日を迎えた。皆様と共に喜びたい

濱野 幸雄

◆これから1年間、会長として精々務めますのでよろしくご協力お願い申し上げます。前年度役員の皆様お疲れさまでした。

武田洋一郎

◆今年も平和展が実施されます。八王子100年の記

念事業のひとつです。「湯の花トンネル空襲」の講演などいろいろ用意しています。 廣瀬 智子

◆岩島前会長はじめ前期役員の皆様有難うございました。目配りの行き届いた取り運びに感謝しています。武田新会長はじめ新年度役員の皆様、引続きよろしくお祈いします。 佐々木研吾

◆また一年、よろしくお祈い致します。浅川 文夫
◆武田会長新年度の船出おめでとうございます。

杉山 友一

◆今期一年よろしくお祈い致します。 戸田 弘文
◆82回目の誕生日を迎えました。バースデーカードを楽しみに待っていました。ありがとうございます。これからもよろしくお祈い申します。 高取 和郎
◆武田年度の役員の皆様、一年間ご苦労様です。

竹内 賢治

◆武田会長年度のスタートを祝して！！一年間ご苦労様です。ドイツヴリーツェンより 岩島 寛
◆一年間幹事として何とかお役を終了できそうです。皆様のご協力に感謝申し上げます。武田新年度のご出発に際し幸多かれと祈念しつつ。 飯田富美子

◆新しい年度になりました。今年もよろしくお祈いします。 野口 浩平

◆財政事情の厳しい時期に幹事を引き受けることになりました。ハッピーな結果が得られるよう努力してまいります。 内山 雅之

◆今期 例会委員長を努めることとなりました。どうぞよろしくお祈い致します。 山口 三郎

◆今週はじめ飛騨地方の神岡、平瀬の二鉦山跡地を实地検分してきました。まさに「夏草や兵（つわもの）どもが夢の跡」そのものでした。来年度の「生涯学習サロン」の活動がスタート、永井新委員長のもと「夢」のある企画をつくり上げたいと思います。

一瀬 明

◆武田丸が出航しました。船長を支えてまいりますので会員諸氏の御支援もよろしくお祈いします。

馬場 征彦

追悼 故大高秀夫会員を偲び

合唱と共に 30年間走った大高さんに

立川 富美代

神様。今手を放してくれたら大高さんが又目の前に降りて来るかしら。

突然に、本当に突然に逝ってしまったね。大高さん。出来るものなら今すぐにでも帰ってきて欲しいです。

30年前、大高さんと私は運命の出会いをしました。ある演奏会で私は実行委員長をしており、その演奏会の中で大高さんは歌っておられました。終わってすぐに合唱団を作ろうと言う話になり、八王子フィルハーモニー管弦楽団の兄弟団になるので、八王子フィルハーモニー合唱団と名付け、私が団長で大高さんが事務局長になりました。

そこから二人三脚で走り出しました。八王子で一番巧い合唱団、大きいホールで演奏会の出来る合唱団、オーケストラをバックに歌える合唱団と3つを目指そうと約束しました。八王子で巧いと言うのはお客様の感想ですから分かりませんが、他の2つはすぐに実現しました。

以来シニア・ダンディーズの活動を入れて30年。毎週会って、3、40回の大小の演奏会と、誰よりも密接に会っていましたね。たくさんの楽しい思い出、苦しかったことなど、でも負けずに頑張って団員を守り、すこしでも精度の高い演奏会を目指しました。ドイツのケムニッツ・オケとの交流も大変だったけど楽しい思い出の一つ。

八王子フィルとやりあったり、いつもそばに大高さんがいました。気配りよく、フットワーク抜群、仕事が手早く、本当にあ・うんの呼吸で仕事できました。団員のお世話も心をこめてしてあげるので信頼も厚く見事な事務局長でした。

プロバスクラブが出来た時に入ると誘いましたが、まだ仕事も現役で半年過ぎてからクラブの会員になりました。勿論八フィル合唱団の事務局長と2足のわらじ履きでした。

第9代の会長で穏やかにそして綿密な会長で、クラブ員に信頼されました。

5年前に私が合唱団引退とともに大高さんも引退されました。今度はシニア・ダンディーズのバスパートで活躍していただきましたが、気配りは相変わらず、メンバーの気が付かない細かいことまで気を使ってくれました。「人の為に役立つ」と言う彼の信念は30年間全然ぶれませんでした。本当に尊敬しておりました。

大高さんのいない世界は寂しすぎます。悲しすぎ

ます。でもこれからも何時までも私の心の中に生きていますよ。いつもそばに居て困った時にはそっと耳打ちしてね。今までと変わらず・・・・合掌。

寄稿

「昭和経年 90 年」

杉山 友一

今年もまた終戦記念日の8月15日がやってきます。



毎年の例に倣って、各方面から大きな括りとしての「戦後70年」と銘打った議論、評論が花を咲かせるに違いありません。しかし今、世界は大きく動いています。自国第一主義を掲げるアメリカ、揺れ動くEU、そして中東、何よりも気がかりな朝鮮半島、そして隣の大国中国と、内外ともに時代的分水嶺に立つ世界という認識が正しかろうと思います。そんな折なればこそ、私たちは「戦後70年」という視点だけで国の未来を語り続けてよいのだろうかという疑問を禁じえません。特に近年、誰でも肌で感じていることとして、日本の国柄が大きく変わろうとしているこの時期に、敢えて「昭和経年90年」に視点を据えた思考をアピールしたいと思っています。未来を語る基本は温故知新、歴史に学ぶこととはよく言われることですが、「戦後70年」と「昭和経年90年」とでは、歴史的史料の深さが相当に違うように思えます。歴史年表を捲り返せば、昭和4年(1929年)秋には、アメリカ発の世界恐慌の波を受けて、日本経済は5年、6年と危機的な状況に陥っています。この惨状は「昭和恐慌」として歴史に深く刻まれています。そんな折、昭和6年に日本軍が起こした満州事変、翌7年の満州国建国、これが国際連盟での厳しい批判に曝されて、続く8年の国際連盟からの脱退に繋がっていきます。時を経て昭和12年、中国の北京郊外での盧溝橋事件を契機として日中戦争が起こります。そして4年後の昭和16年12月8日未明にはハワイ州真珠湾への奇襲作戦が展開され(アメリカ太平洋艦隊と基地攻撃)ついに大国アメリカとの全面戦争、太平洋戦争への突入です。振り返れば、1930年代後半(太平洋戦争突入前夜)、日本では大きな思想運動となった「国体

明徴運動」(美濃部達吉の天皇機関説の排斥)の流れの中で、教育の根幹は「臣民の道」(昭和16年文部省から出された国民教育用の教科書)を礎として、戦闘集団としての国家が急速に形成されていきました。そして束の間の4年後、同胞310万の命と引き換えに待っていた結末は、あの昭和20年8月15日の「皇国大日本帝国の悲劇の結末」でありました。我々戦前生まれの生き証人の目からすれば、8月15日は単なる「終戦記念日」ではなく、今なお尾を引く「敗戦記念日」であることを自覚したいと思いません。

一昨年のプロバス日より第237号6頁に「八月に憶う」と題し、昨年プロバス日より第249号7頁に「終戦記念日を考える」と題した渋谷会員の手記が掲載されています。ホームページから引けますから、昭和を思い起こす縁として是非読み返して欲しい記事の一つです。誤った国体思想の下で翻弄される国民の側の受難の実相が身近に伝わってきます。こうした経緯は「戦後70年」の視点からでは俎上に乗れません。「昭和経年90年」と、立ち位置を変えたとき初めて見えてくる真実なのです。「戦後70年」と「昭和経年90年」あなたはどちらの議論に加わってくれますか。巡り来るオリンピックイヤーが日本の大きな転換点になるような気がしてなりません。

明徴運動」(美濃部達吉の天皇機関説の排斥)の流れの中で、教育の根幹は「臣民の道」(昭和16年文部省から出された国民教育用の教科書)を礎として、戦闘集団としての国家が急速に形成されていきました。そして束の間の4年後、同胞310万の命と引き換えに待っていた結末は、あの昭和20年8月15日の「皇国大日本帝国の悲劇の結末」でありました。我々戦前生まれの生き証人の目からすれば、8月15日は単なる「終戦記念日」ではなく、今なお尾を引く「敗戦記念日」であることを自覚したいと思いません。

一昨年のプロバス日より第237号6頁に「八月に憶う」と題し、昨年プロバス日より第249号7頁に「終戦記念日を考える」と題した渋谷会員の手記が掲載されています。ホームページから引けますから、昭和を思い起こす縁として是非読み返して欲しい記事の一つです。誤った国体思想の下で翻弄される国民の側の受難の実相が身近に伝わってきます。こうした経緯は「戦後70年」の視点からでは俎上に乗れません。「昭和経年90年」と、立ち位置を変えたとき初めて見えてくる真実なのです。「戦後70年」と「昭和経年90年」あなたはどちらの議論に加わってくれますか。巡り来るオリンピックイヤーが日本の大きな転換点になるような気がしてなりません。

新緑の穂高と飛騨高山への吟行 渋谷 文雄

八王子発 07:29 松本着
09:39 スーパーあずさ1号。
高齢者には早立ちであるが、行程の全企画は80歳も半ばに近い老練の句友、矢島氏である。鉄路で行く甲州路の山々は濃淡の新緑に、



淡い紫を散らす藤の花などを添えて、春爛漫。松本からは待つ間もなく観光地に向かうバスに乗り換えて西進。あずさ街道の右側は麦秋には少し早い麦畑、左は田植えの済んだばかりの田園が蒼空を写し、バスは春と初夏の境を進む。やがて向側に新緑の山が迫り、山間の清流梓川の岸には、薄く青みを帯びた白いニセアカシアの花房が満開、風に揺られ散り始めて見事。やがてバスの正面に残雪を戴くアルプスが見え隠れする。



バスは上高地に繋がる釜トンネル前を左折、安房隧道を抜け、平湯温泉を經由して終着は新穂高温泉駅に到着12:25。バス停横に新穂高ロープウェイの駅舎と宿泊ホテルがあ

って便利とはこの事。

ロープウェイの駅舎で昼食を済ませ、二階建てのゴンドラに搭乗、鍋平で乗り換え一気に西穂高駅に到着。展望台は標高2156m気温8度、山麓には2mを超える残雪があって、この辺は未だ早春賦の世界らしいが、空は晴れて視界は抜群。正面の尾根に西穂山荘、左の尾根伝いに、奥穂、北穂、南岳と続き槍ヶ岳も指呼の間、北アルプスが遙か彼方まで遠望できる。右の尾根は前穂に次いで焼岳が眼下、尾根は乗鞍へと続き、雲間に南アルプス。山麓は眩しいまでの新緑、爽やかな風が吹き抜ける山あい。これで名句誕生間違い無し。千石尾根の展望を満喫して下山。新緑に囲まれたホテルの野天風呂に体を沈め、残雪の尾根を展望する贅沢を、紅葉の秋にも味わいたいものである。

翌朝07:56発、再び平湯温泉を經由して、高山着09:31。飛騨高山の高山祭は有名で、祭りには数十万の観光客で賑わうらしい。我一行は、先ずは数百年から続く代官所跡「高山陣屋」を参観。複雑な部屋の配置と小部屋の多さに驚嘆、往時の生活を想像するに難く、驚異であったが、保存状態は極めて丁寧で関係者のご努力がしのばれた。次いで高山で著名な蕎麦屋「恵比寿」を尋ねて町内を散策すること30分余、昔は蚕を飼っていたのであろう、天井の低い混雑満席の店で「飛騨そば」にありつき一句……。2台のタクシーに分乗、高山八幡神社境内の建物に安置されている4基の屋台を訪ねて見学。妙齡な巫女さんの案内で高さ8mの屋台の見事な造りと飾りに感動すること暫し、待たせたタクシーでバス停に直行。13:50発～平湯經由～松本駅着16:15。あずさ28号、松本発16:58～八王子着19:02。無事解散。

俳句同好会便り

私の一句～7月の句会から

河合 和郎

近隣プロバスクラブとの交流事業として、多摩PCの俳句同好会と合同の吟行会を高尾山で8月9日に実施。お互いに刺激し合う良い機会となる。

夏草に埋もれて眠る捨て人形 飯田富美子

忘れられたのか捨てられたのか、夏草の茂みに人形が一つ。哀れを誘う悲しい光景を一句に。

夏雲や亡き友ゆきし天遙か 立川富美代

シニアダンディーズ等で長いお付き合いのあった大高会員の急逝を悼んでの追悼句。万感の思いが。

若葉萌ゆ少年棋士の輝きて 馬場 征彦

天才少年の出現が世間の耳目を一身に集めている。これからどんな大樹に成長するのであろうか。

酢味噌添へ白磁の鉢に山の独活 渋谷 文雄

衰えない感性が生んだ一句。白い鉢と山独活の緑の取り合わせが鮮やか。味もまた美味ならん。

茱萸坂に草莽の声夏嵐 山形 忠顯

茱萸坂は国会議事堂の南側にある坂道。国政は民の声を聞いているのだろうか。作者の愁いは深い。

老いし耳今や届かぬ蟬時雨 東山 榮

お互いに身につまされる一句。うるさいほど聞こえていた蟬の声も聞き取れない淋しさが漂う。

雨上る咲き上りたる葵かな 矢島 一雄

葵の花の咲く様子を活写。一つの事象を直線的に表現するのも俳句表現の一つ。写真にも通じる。

そのちは蛍となるや桜桃忌 池田ときえ

桜桃忌は太宰治の忌日。6月19日に玉川上水に入水した。水辺に群れる蛍に太宰の影を重ねた。

ふた仕事終へても青し夏至の空 田中 信昭

日長を表現するのに「ふた仕事」はうまい。季節の変わり目をユニークな表現で一句に仕立てた。

向日葵の一步も引かぬ強さかな 河合 和郎

烈火の太陽に立ち向かうように咲き誇る向日葵は生命力にあふれている。この強さにあやかりたい。

編集後記:九州北部に甚大な被害をもたらせた豪雨。お見舞い申し上げます。一方関東地方は猛暑続きの空梅雨。7月例会後の異常の暑さの中での編集作業でした。
有泉裕子